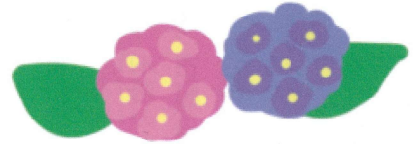


紫竹山コミ協 会報 むらさき



第21号

発行日 令和6年3月21日
発行 紫竹山校区
コミュニティ協議会

紫竹山コミ協 令和6年あいなまつ

紫竹山校区コミュニティ協議会
副会長 小菅 文定



令和6年元日の夕方、突然能登沖地震が発生、新潟も大変な揺れに襲われました。多くの皆様は、テレビ

放送での「3mの津波が押し寄せる」強い口調の避難要請に答えて、紫竹山校区コミュニティ協議会の自治会の皆様は、紫竹山小学校、テクノスクール、駅南コミセン、北越高校の4ヶ所に大勢の方が分散して避難しました。開設した避難所毎に、運営面ではその対応に差があった様に見受けられましたので、今後の避難所運営訓練の中で問題点の洗い出しを行い、修正の必要があると思います。

今回多くの皆さんが避難したのは、過去の多くの地震などの災害時に「命を守る」教育・啓発活動の良い効果が表れたと思います。今後もこの傾向は続くと思われれます。

新潟市は西区で、液状化により多数の家屋に被害が出ましたが、手厚い公的支援を得て、早い復旧を願っています。能登半島地震の関連で、今回の震源地の延長で佐渡沖に地震発生の可能性を示唆する報道も有ります。皆さんも普段の生活の中から、できる最低限の

地震対策に配慮してください。

新潟駅も60年振りの大改造工事（高架化・駅南北広場）により、鳥屋野潟南地区と万代・古町地区と乗り換え無しで結ばれます。進行中の「新潟2km」と共に人の交流が活性化され、中央区はこれから新潟駅を中心に発展すると思われれます。

この流れに乗って駅南地区の利便性向上に向けて、紫竹山校区コミュニティ協議会が中心となって駅南住民バス（仮称）を計画中です。この実現のため、皆様のご協力を得てアンケート調査を実施してきました。この調査結果を基に住民の要望と新潟市の考え方を合わせたルート案（Sleepy）が提案されて検討段階にあります。

実際に住民バス&実証運転が運行されるまでには、多くの課題を乗り越えなければなりません。例えば「きめ細かな運行サービス」と「効率化・簡素化・経済性」の課題を如何に調整するか？その他「運賃・停留所・便数」などなど解決には多くの労力を必要とします。これらの解決には皆様の多大のご協力が必要です。

コロナ禍の影響も無くなり、令和6年度紫竹山校区コミュニティ協議会の各専門部会の活動も、昨年同様それぞれ工夫を凝らした企画書計画を作成中です。皆様の多数のご参加を宜しくお願いします。

広報部がインターネット上で紫竹山校区コミュニティ協議会の『ホームページ』を立ち上げる作業が進行中です。完成後は、多数利用をお願いします。

市民バスについて

●住民バス事業部会

部会長 小菅 文定

駅南地区住民バスアンケート調査結果

1. アンケート調査実施について

(1) 調査期間

令和5年8月1日～31日

(2) 調査方法

紫竹山校区コミュニティ協議会を中心に、女池校区コミュニティ協議会、南万代地区コミュニティ協議会、笹口校区コミュニティ協議会に協力を要請して調査表を配布、回収した。

(3) 回収率

32.8% (1148 / 3500)

(4) コメント抜粋

- ・家族が運転代行してくれる。
- ・現状バス停迄が遠い。
- ・まとめ買いするので、自家用車が便利。
- ・自家用車は自由な時間で行動できる。
- ・天候に左右される。暑い日などは大変。
- ・バス1本で行けない場所がある。
- ・安価でタイミングよく乗れるバスが無い。

防災研修

10/19

●阿賀野川河川事務所

紫竹山自治会長 野澤 修

10月19日に秋葉区にある阿賀野川河川事務所で防災研修を受けました。当日は、阿賀野川の洪水を防ぐための取り組みや過去の阿賀野川洪水の歴史を学びました。

仮に阿賀野川が氾濫し、私たちの住む紫竹山校区にも、水が入り込むようなことがあると1〜2週間は水が引かないようです。

阿賀野川の洪水を防ぐための取り組みは、大正時代に始まり、満願寺開門（こももん）と小阿賀野川樋門（ひもん）が設置されました。

小阿賀野川は新潟市満願寺で、阿賀野川から分かれて、信濃川に合流している川で長さは11kmあります。小阿賀野川は昔から洪水になると人々を困らせてきました。



阿賀野川河川事務所

その氾濫を防ぐために設置された開門と樋門は、洪水時にはゲートを閉じて水位を調整し、私達の生活を守ってくれています。

研修を通じ、いつ起こるか分からない災害に備えること、そして避難場所はどこなのかを確認しておくことが重要だと感じました。

- ・将来的には免許返納後住民バスが必要。
 - ・運行日頻度を増し便数を増やしてほしい。
 - ・高齢者には住民バスは有効手段であり是非実現させて欲しい。
 - ・紫竹山地区から通学便を走らせて欲しい。
 - ・鳥屋野体育館、古町、万代に繋げて欲しい。
 - ・北越通り、むらさき通り、紫鳥線にバスを走らせて欲しい。
 - ・渋滞緩和を先に改善してほしい。
 - ・新潟交通より安価にしてほしい。
2. アンケート調査後の区役所の見解
- (1) 拠点となる場所は 新潟駅・鳥屋野体育館・スーパーマーケット等があると思われる。これを基本にルート案を作成する。
 - (2) 笹口地区は 今回の調査ではニーズ・課題が不明のため考慮せず。
 - (3) 古町・万代地区は 既設の交通と重複する区間があるため慎重に進めなければならない。今回は見送りとする。
 - (4) 上野駅を今回のルートに組み入れる事

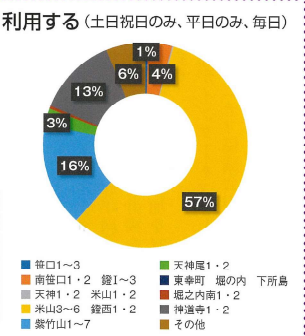
3. 今後の進め方
- (1) 令和5年12月、運行ルート決定（事業企画）
 - (2) 令和6年4月、三者協議会 ①運行内容の整理 地域交通団体 ②事業企画書の作成 区役所
 - (3) 令和6年5月〜9月、実行案による需要アンケート調査 運行計画書の作成
 - (4) 令和6年10月頃、社会実験実施の判断
 - (5) 令和6年11月頃〜令和7年4月（運行準備）
 - ①運行に必要な設備の準備
 - ②利用促進活動の展開
 - ③三者協定締結
 - (6) 令和7年中頃、社会実験の開始
- 以後1年毎に検証（採算性の見地）して3年間を経て、実用運転に移行する。

新潟駅と結ばれる事によって、そのルート周辺が将来的に相乗効果が期待できる。

住民バスを利用しますか？ 住居区ごとの比較

	笹口1~3	南笹口1~2 鏡1~3	天神1~2 米山1~2	米山3~6 鏡西1~2	紫竹山1~7	天神尾1~2	東寺町 堀之内 下所島	堀之内南1~2	神道寺1~2	その他	総計
無回答				7	8			1	2		18
土日祝のみ		1		10	4	1			4	4	24
平日のみ	1	2		36	11			2	14	3	69
毎日	1	14	1	212	58	11			39	21	357
年に2~3回	1	11	3	204	73	15	1	1	58	10	377
利用しない	1	6		176	50	7			38	25	303
総計	4	34	4	645	204	34	1	4	155	63	1,148

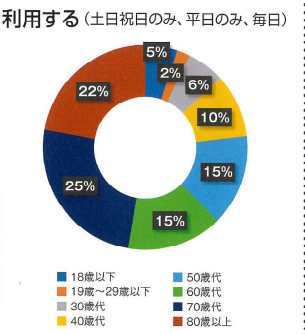
利用する 450件 39.1%



住民バスを利用しますか？ 年齢ごとの比較

	18歳以下	19歳~29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	総計
無回答	4			4	4	2	2	2	18
土日祝のみ	1		8	2	9	3	1		24
平日のみ	3	2	4	4	9	8	16	23	69
毎日	19	7	15	39	47	57	96	77	357
年に2~3回	23	10	22	59	76	75	77	35	377
利用しない	10	8	25	52	59	64	49	36	303
総計	60	27	74	160	204	209	241	173	1,148

利用する 450件 39.1%



●阿賀野川河川事務所

満願寺出張所と東区堤防

鏡西第一自治会長 高野 富男

阿賀野川河川事務所の満願寺出張所（秋葉区）は、満願寺開門（船を通す施設）と小阿賀野門（ひもん）の施設管理を行っている。

樋門施設は、小阿賀野川（農業用水、水道水の供給など）の水量調整を行っている。また阿賀野川が洪水の時は、樋門のゲートを閉め、下流の安全を担っていることを知りました。

この地に阿賀野川満願寺「基準点標石」があり、これは測量・設計図の作成・工事を行うための基準で「阿賀野川の形を決めた原点」と言っています。

次に、洪水で駅南地域の浸水災害が大きいと想定される堤防を視察しました。左岸河川敷の阿賀野川河川公園（東区）近辺が氾濫した場合、要注意であることの説明を受けました。

今回の研修により、小阿賀野川は水門に守られ安全な川になった事、国交

省の「浸水ナビ」が地域の水防・避難行動に活用できる事を学びました。

※（豆知識）左岸とは「川面を見て、左方向に流れている岸」を学ぶ

あがのがわ まんがんじ きじゅんでんひょうせき
阿賀野川満願寺「基準点標石」

阿賀野川満願寺「基準点標石」は、1915年（大正4年）国が初めて阿賀野川の工事を行った時に、測量・設計図の作成・工事を行うための基準として、内務省（今の国土交通省）が設置したものです。

この作られた設計図によって、今の阿賀野川の形が決められたことから、基準点標石はいわば「阿賀野川の形を決めた原点」と言えます。

国土交通省 浸水ナビ

浸水ナビホームページ

紫竹山校区コミュニティ協議会

●新潟市中部下水処理場

米山三丁目駅南ハイツ自治会長

中村 哲

コミ協の視察メンバーと3ヶ所目の施設を研修しました。天候にも恵まれ午前中もかなり歩きましたが、更に階段だらけの広大な施設をくまなく視察しました（敷地面積17・51ha）。

中部下水処理場は新潟市の下水道計画区域、約21,110haの約21%にあたる4,598haの区域から汚水を集め、現在水処理施設は一日150,400m³きれいにするとこの事です。合流式下水道施設であるため、雨水ポンプ施設は雨天時に水処理施設の能力を超えた水を直接信濃川へ排水します。

施設は、あたかも大工場の大規模プラントのようでした。我々の家庭から排水された汚水が、様々な水路をたどってこちらの施設に集められ、綺麗にして川に戻すことの何か所に渡る過程に関心しました。当初はすごい臭気を懸念しましたが、以外に臭くないことに驚きました。消化層槽から発生したガスは、消化ガス発電機で場内で使用する電力になり廃熱は消化槽の加温用に利用されるSDGsになっていました。

紫竹山校区コミュニティ協議会



満願寺出張所



満願寺出張所

●阿賀野川河川事務所

鏡西二自治会

防災委員長 小林 隆夫

令和5年10月19日（木）に①国土交通省阿賀野川河川事務所、②親松排水機場、③新潟市下水道管理センターへ行き、内・外水氾濫を知る研修視察を行い見識を深めることができました。3か所視察したうち、国管理の阿賀野川河川工事事務所について所感を記述します。

・阿賀野川河川工事事務所

令和元年10月、台風19号の千曲川氾濫被害に伴い、翌年、長野市長沼地区の千曲川の視察で分かったことですが、下流部を拡幅しないと上流部の千曲川で大規模工事が出来ないとの関係者から聞き、現在千曲川から新潟県で、信濃川になる大河津分水路で昼夜を分かたず、川幅拡幅工事が行われています。約十年後に完成すると、上流部に大雨が降っても、大河津分水で今まで以上に水量管理が出来ることから、信濃川の外水氾濫は起こりにくいと考えます。

一方、阿賀野川は過去に上流部の常浪川や本流東下条地区で外水氾濫の被害があり、信濃川と違って分水が少なく要注意河川です。

下流部の東区津島屋地内で左岸堤防破堤（外水氾濫）すると、同交省の浸水ナビで駅南コミセン迄の到達時間約30時間、浸水高さ約1mとPCやスマホで検索できます。

私共が住んでいる駅南地域は、地震の他に内・外水氾濫被害が懸念されるので、最悪、自宅で2階に垂直避難が出来ないようにしておく必要があり、平屋建てに住む人は、最寄りの避難所2階以上に避難する必要があります。平成10年8月4日、新潟豪雨で自宅が床下浸水（内水氾濫）して被害を受けました。

最近でも、秋田市や村上市、関川村などで線状降水帯が発生して、大雨の影響で甚大な被害が出ました。想定外の大雨などで命を落とすことなく、万全な対策をとって、生き抜く術を備えていく必要があると常々感じています。

個人的にはこちらにある下水道管理センターに消雪装置の届け出に来た事はありますが職員の方の説明と共に、有意義に研修できたことは貴重な経験になりました。また日頃から下水道料金について疑問もありましたが、これだけの施設の維持管理に一部使われていることに納得した次第です。

●親松排水機場

米山第六自治会長 小川 秀男

現在の亀田郷地区を見ると想像もつかないが、昭和20年以前は芦沼で、農作業は胸まで浸つての作業を余儀なくされた地域でした。

昭和23年栗ノ木排水機場の完成で、鳥屋野潟の水位が90cm下がりが農耕牛馬の利用が可能になりました。又、昭和39年の新潟地震で、栗ノ木排水機場が被害を受けた為、旧親松排水機場が完成しました。完成から30余年が経過し、設備の老朽化、不同沈下などにより、平成19年現在の親松排水機場が完成しました。

鳥屋野潟の水位は、親松排水機場付近では信濃川の水位より約3.5m低くなっているため、自然の状態では信濃川に排水されず、そのままでは溜まった水

米山第六自治会 武田 正巳

新潟半野の成り立ち、亀田郷の歴史を学び、先人達がいかにか多くの災害を経験し、それを乗り越える為、放水路の開削、河道整正、護岸整備、排水機場の整備等を行った事、今の我々の穏やかな生活の基礎となったと思つた。

※不同沈下とは、地盤のゆがみなどにより、建物が傾く（地中に沈む）こと。

日本海平均潮位以下の土地が3分の2を占める亀田郷地区は、親松排水機場の稼働によって守られているのだと改めて実感しました。

新川河口、新井郷川、白根親松の排水機場の合計排水量毎秒450m³は、信濃川の平均流量に相当するそうだ。信濃川、阿賀野川、小阿賀野川に囲まれ、3分の2が海水面以下である亀田郷は、地震、台風、集中豪雨等の自然災害で護岸、排水機能等に問題が起き



阿賀野川河川事務所



阿賀野川左岸堤防

ば、浸水を免れない地域であるという事も解つた。新潟市では、大きな被害は無かったが、平成23年の新潟福島豪雨では実際かなり危険な状況であつたらしい。これらを踏まえ、平常時から何より身を守る為、対処法を考え準備する事が必要だと思つた。



新潟市中部下水処理場



新潟市中部下水処理場

紫竹山校区コミュニティ協議会

紫竹山小学校 防災イベント

10/22

防災委員長 小林 隆夫

令和5年10月22日（日）9時から正午、紫竹山小において、紫竹山校区防災会と今年初めて発足した紫竹山PTAボウサイズとコラボして、防災イベントを約200人規模で行うことができました。

災害が発生すると、避難所運営協力関係にある紫竹山小学校関係者、紫竹山小避難所に駆けつける市役所指名職員、私共、地域住民の三者が顔の見える関係を構築して、訓練ができることに意義がありました。残念なことは、紫竹山小に同じく避難する、女池校区の神道寺地区住民が都合により参加できなかったことでした。

生徒達と父兄は体育館でダンボールパラダイスによる、生徒達の元気な声が飛び交っていました。

大人のイベントは、次のように行いました。

- ① 社会福祉協議会より講師を招き、車いすの適正な使用方法
- ② 地元防災士によるダンボールペツド、非常用トイレ、パーティション

ンの作成体験

- ③ 地元消防団による心肺蘇生とAED取扱法
- ④ 地元防災士による津波避難方法と紫竹山小災害備蓄品紹介
- ⑤ 防災会及びボウサイズによる非常食（アルファ化米）の炊き出し訓練

以上、5項目のイベントは、いろいろな自治会、防災会、小・中学校などで指導してきた中でも、外せないイベントなので、避難所運営訓練と並行して行う必要があると思いました。

最後に、紫竹山校区防災会は12自治会で構成されており、校区内に3か所の避難所（紫竹山小・北越高・駅南コミセン）があります。あらかじめ、3か所の避難所運営担当者を決めており、毎年、訓練会場を替えています。災害に備えて練度を高めて行っています。また、このたび初めて、紫竹山PTAボウサイズの協力をいただきました。災害時、父兄のパワーと生徒ができる防災行動が欠かせませんので、防災訓練や防災出前授業等で分かりやすく教えていき、「自分達が住んでいる街は、自分たちで守る」を合言葉にして、紫竹山校区防災会の充実を図っていきたいと思います。

紫竹山校区コミュニティ協議会

紫竹山小学校 学習発表会 （防災について）

1/25

中村 昌雄

昨春秋に行った防災出前授業の後に、4年生ごもたちが町内を歩いたり、調べ学習をしたりして、マップや防災の心得などをまとめました。その発表会を学習参観に合わせて行いました。

先生方、ごもたち、保護者に交して、地域の防災担当者として、招待をいただきました。小林隆夫防災委員長、中村昌雄の2名で参加しました。

「マップ紹介と説明」「大切にしたいこと説明」の2点について、複数グループがいくつかのブースに分かれ発表しました。

AEDの在る場所を調べてマップにしたり、ペットの避難について調べ避難時の心得にまとめた点は、私たちコミ協の防災委員会や広報部会でも参考にしたい点です。



発表方法について、もう少し検討してほしいと感じました。声が混雑して、声の小さい人は聞こえない状態でした。それでもすばらしい発表会だったと思います。

健康教室

11/26

健康福祉部長 丸山 保

令和5年11月26日（日）午後1時30分から3時まで、駅南コミュニティセンター2階大ホールにて、地元出身の（もたい内科クリニック医院）もたい陽介先生により、「健康に関するお話」の講演をいただきました。あわせて、新



消防団 心肺蘇生とAED取扱方法

社会福祉協議会 車いす使用方法

防犯・防火講習 3/2
防犯防火委員長 濱田 宏幸
3月2日、防犯防火委員会担当の講習会を行いました。
第1部では、新潟市防犯指導員の井上明様より、未だに被害が増え続ける特殊詐欺についてお話を伺いました。同詐欺は、人の心の隙間につけこんだ犯罪であり、事ある毎に隣近所で「お互い気をつけましょう」と声を掛け合う事もとても大事なな、と思いました。
第2部では、元日夕方に発生した能登半島地震にて紫竹山小学校で避難者対応をされた小林隆夫防災士よりお話を伺いました。当コミ協内では実質的に初の避難行動となった出来事であり、避難者も自治会役員も本場に手探りの中で過ごされた様子が臨場感をもって伺うことが出来ました。
避難所の実態や当時の様子から、普段からの訓練参加や避難袋の充実（3



新潟市防犯指導員による防犯講習

防災委員長による防災講習

米が当たるお楽しみ抽選会を開催いたしました。
おかげさまで、80名余りご参加いただきました。昨今の健康ブーム、健康志向もあるものと思われませんが、紫竹山校区コミュニティ協議会組織の12自治会の協力によるものであると感謝いたします。今後も地域住民の健康増進に関する事柄を、計画いたしますのでその節は、重ねて案内回覧などのご協力をお願い致します。
もたい陽介先生 講演
お楽しみ抽選会

